

回覧



沼津市立愛鷹中学校
学校だより

NO.1

令和6年4月11日

○愛鷹小中一貫教育目標 『志を持ち たくましく生きる人』

中学校生活では、自らの力を精一杯発揮し、目標に挑戦して達成する喜びを味わうことで、社会で活躍する志と、目標に向かって歩みを続けるたくましさを育てていきます

○愛鷹中 学校教育目標 『夢に向かい 心豊かに 自ら学ぶ』

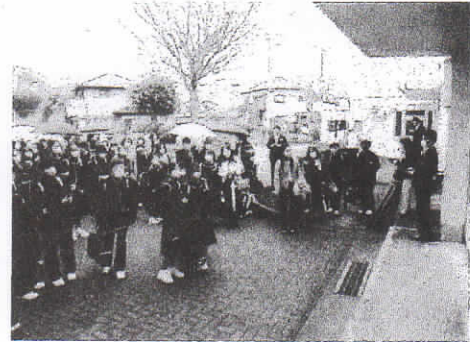
「知・徳・体」のバランスの取れた豊かな人間形成を目指しつつ、一人一人を大切にし、自分で自分の夢をつかみにいく生徒の育成に力を注ぎます

○愛鷹中 学校経営目標 『工夫と創造』

コロナ禍で培ってきたことを生かすとともに、従来の形に「工夫と創造」を加え、持続可能な教育活動の構築を目指していきます。

～令和6年度のスタート～

4月5日(金)、午前には始業式、午後には入学式を行い、3年生87人、2年生92人、1年生96人、全校生徒275人で、令和6年度がスタートしました。3年生は「最上級生としての自覚と誇り」を、2年生は「中堅学年としての意気込み」を、1年生からは「今日から愛鷹中の生徒として頑張ろうという強い意気込み」を感じました。希望に満ちた素晴らしいスタートとなりました。



～三つの成長の種～

体の成長は意識しなくても自然に大きくなっていきますが、心や精神的な成長は、意識して行動していかないと成長しません。心や精神的な成長するためには、3つの種が必要です。

一つ目の種は、「誠実」です。「正直」という言葉がありますが、こちらは嘘をつかないという人として守らなければいけない徳です。「誠実」は自分が言ったことをそのまま実行することです。口だけで実行しない人は、信頼されませんし、成長もしません。

二つ目の種は、「謙虚」です。自信をもつということは大切な事ですが、自分の力を過信し、周囲にいる人たちを上から目線で見下ろしてしまうような人がいます。反対にどのように変化していても自分はまだまだ未熟であり、足りない点がいっぱいあるということを自覚し、高みを目指していく姿勢が「謙虚」という意味です。謙虚な人は、尊敬する人をもっていると思います。そして自分もあんな人になりたいと考えています。尊敬する人がいて初めて自らを慎むことができます。自らを慎むことによって人は大きく成長するものです。

三つ目の種は、「努力」です。努力しようと思うのは、目標があるからです。目標はうまく設定することによって、意欲が変わってきます。その目標に向けて、一步一步の努力を重ねていくこと、小さなことを毎日積み重ねることが大切です。大きな志をもっても、1回頑張れば達成できるなんてことはありませんし、少しずつ少しずつ気がつかないような伸びをしていくことが成長の姿だと思います。毎日の小さな小さな努力が習慣になることによって、大きな成長になります。

3つの成長の種をまき、大きく成長できる一年になることを期待しています。